					大田原キャンパス		
科目名	世界遺産と国際文化政策 （VOD 授業）				授業開始年度		2016 年度
科目担当責任者	佐藤　禎一	科目担当者					
学科	全学科			学年	全学年	期	前期
曜日時限	集中講義	必修/選択	選択	単位数	2	時間数	30 時間
授業の形態	VOD 講義（対面授業あり）						

授業の概要 （主題）	本講義では、グローバリゼーションが文化政策にいかなるインパクトを与えたかということを、世界遺産制度を軸にして考察する。素材としては、ユネスコが 1972 年に採択した世界遺産条約の内容およびその運用状況を主としてとりあげるが、あわせて、無形遺産条約、文化多様性条約などの一連の国際文化政策に関係する条約についても取り上げることとする。
授業の到達目標	1. 世界遺産制度について説明できる。 2. 国際的な遺産保護政策の概要を説明できる。 3. 国際的な文化政策の流れを理解できる。 4. グローバリゼーションが国際的な文化政策におよぼした影響を理解できる。 5. グローバリゼーションが我が国の文化政策におよぼす影響を理解できる。 6. 我が国のシステムの理解にあたってグローバルな視点から考察できる。

授業計画		
回数	内容	担当
第 1 回	世界遺産概観(世界遺産制度の概要1、2）	
第 2 回	世界遺産条約（国際法の役割、条約の構成）	
第 3 回	世界遺産の要件（ガイドラインの概要、具体的な要件）	
第 4 回	世界遺産の手続き（申請手続き、盛会遺産審査の実際）	
第 5 回	世界遺産の問題点（遺産の価値をめぐって、暫定遺産・危機遺産）	
第 6 回	世界遺産の新しい傾向（複合遺産・越境遺産、道・運河・産業遺産）	
第 7 回	日本の世界遺産（文化遺産、自然遺産）	
第 8 回	日本の世界遺産候補（国内での手続き、日本の世界遺産候補）	
第 9 回	国際文化政策の変遷（国際文化政策の変遷、文化財保護制度の進展）	
第 10 回	紛争時の文化財保護等（紛争時の文化財保護、不法輸出入の禁止）	
第 11 回	水中遺産の保護（水中遺産保護の必要性、水中遺産保護条約の内容）	
第 12 回	無形遺産の保護（無形遺産条約制定の背景、無形遺産条約の内容）	
第 13 回	日本の世界無形遺産（日本の世界無形遺産、日本の世界無形遺産候補）	
第 14 回	文化多様性条約（背景、成立過程、内容）	
第 15 回	文化多様性条約（補遺）、講義のまとめ	

成績評価の方法	□定期試験、 □実技試験、 □実習評価、 □小テスト、 ■レポート、 □その他（　　）
評価の基準	レポート100％
準備学習 学習へのｱﾄﾞﾊﾞｲｽ	医療分野の諸政策についても、グローバルな視点から考えてみること。
履修条件	

教　科　書	特に指定しない
参　考　書	文化と国際法　佐藤禎一著　2008 年　玉川大学出版部

オフィスアワー	教務窓口に問い合わせること
その他	●15 回目の講義は、対面授業とする。　日時:未定決定次第掲示 ※放送日時については、後日配布する番組表を確認すること。 ※VOD（ﾋﾞﾃﾞｵ・ｵﾝ・ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ）により、放送された授業の視聴が可能。 ※VOD 科目は、単位修得の前提として、 ・すべての動画の視聴が完了していること ・動画視聴後に、毎回意見・感想の記入がされていること を必須とする。